

## 春季大会男子ダブルス予選の抽選および運営の方式について

◎勝ち上がり数を40組とする。

◎当日朝、受付数が確定してから抽選を行う。

### ・棄権がない場合

◎2分の1勝ち上がりの山を31山作成する。学校順位1位の組(13組)のみ、事前に乱数で抽選をしており、学校順位1位の組同士が対戦しないように配慮する。

◎7:40～ 抽選を行う。同校対戦がないように配慮しながら、エントリー数の多い学校から抽選する。

◎31山の対戦がすべて終了してから、敗者31名を対象に敗者復活戦のドローを抽選する。勝ち上がり数は9組(40組—31組)とし、4分の1山を4山、3分の1山を5山作成する。

◎進行の状況により、敗者が出揃わなくても抽選を行うことがある。

### ・棄権があった場合(受付数が偶数の場合)

◎2分の1勝ち上がりの山をできるだけ作成する。敗者復活戦では、40組—(勝ち上がり数)のドローを作成する。

### ・棄権があった場合(受付数が奇数の場合)

◎3分の1勝ち上がりの山を1つ、それ以外は2分の1勝ち上がりの山を作成する。敗者復活戦では40組—(勝ち上がり数)のドローを作成する。